

続・チェンジメーカー 社会を変えるという仕事

『移民経済』を大きく変える金融インフラを創る

枋迫篤昌

マイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション(MFIC)創設者・プレジデント

世界に散る2億人の出稼ぎ移民の自国への送金額は年間20兆4千億円に達する。既存の金融システムから洩れた出稼ぎ移民の生活の向上に繋がる新しいシステムの創設に向けて立ち上がった、日本人の元銀行マンがいる。

写真・文 遠藤宗々



、現る。

中南米、メキシコ、南アジア、中近東などの貧しい地域から西ヨーロッパやアメリカ合衆国などへ出稼ぎに来ている人口は2006年で2億人を超え、自国の家族への送金額は約1、700億ドル(＝20兆4千億円)に達する。合衆国では中南米、メキシコ、カリブ海諸国などからのラテンアメリカ系の移民が年々増え、2006年末には総人口の15%に当たる約4200万人に達した。(ちなみに黒人は総人口の13%) さらに毎日5千人ずつ増えているというデータもある。

約4200万人のラテンアメリカ系移民のほとんどは、アンバンクド(CZ BANKED)と呼ばれる銀行口座を持たない人たちだ。銀行送金のできない彼らの送金手段は、「ウエスタン・ユニオン」(大手の送金エージェントでドラッグストアなどの片隅にある。全米に2万4千店舗)や「マネーグラム」など、送金ライセンスを持つ大手送金エージェントを使うこと。彼らは防弾ガラスと鉄格子を張り巡らされた、まるで罪人扱いのような侮辱的な雰囲気にも耐えながら、エージェントに10～16%の手数料を払って祖国の家族に送金する。加えて現地貨幣に換算する手数料等もかかり、200ドルの稼ぎは家族の手に渡る時は140ドルほどになってしまう。

「真面目にコツコツ働く彼らが、仲介業者に搾取されることには納得がいかない。同時に、世界で27兆円にもの

ぼる移民送金が金融システムから洩れている。これは世界の金融システムにとって巨大なロスではないか」この枘迫の気付きがMFIC立ち上げの起点である。

枘迫は東京銀行に就職して間もない26才のとき、語学研修のためメキシコで暮らした。そこで生まれて初めて「貧困」を目の当たりにしたという。「いつか金融の専門家になって必ずこの不公平を変えたい」という願望はこの時生まれた。

メキシコから日本に戻った後、ペルー、パナマなどにも駐在。41才の年に帰国し、八重洲支店営業課長となった後、ワシントンDCの駐在事務局長に。昼間は銀行の業務に打ち込み、夜はジョージ・ワシントン大学のビジネス・スクールへ。夜や週末をフルに使って出来る限りの国際会議に出席した。

移民問題、マクロ経済の活性化、急激に増えている移民送金額と手数料の無謀な高さについての議題は、頻繁に行なわれる会議の恒常的なテーマだった。世界銀行や各NGOは10年近く緻密な調査と分析を繰り返してはいるものの、議論のみで誰ひとりとして具体的な解決は提示していなかった。繰り返される議論に痺れを切らした枘迫は、解決プランを練り上げ、2004年7月、ワシントンDCにマイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション(MFIC)を立ち上げる。26才の時、メキシコの極貧を

目の前にし、「金融の裏も表も知り尽くし力をつけてから解決したい……」と決心してから30年近くが経っていた。

「私がDCにこだわったのは、この構想を実現し世界に発信するには、世界銀行や米国政府の中核機能があるこの街しかないと思ったからです」。

国際送金の手数料は、従来の10～15%から一件10ドルの固定料金に、小切手換金は3%から1%に引き下げた。又、マイクロファイナンス(低所得者向け小規模金融)や自国で待つ家族が家を建てるための住宅ローン、医療・生命保険もメニューに盛り込んだ。マイクロファイナンス機関は世界に7千ほど存在するが、返済率は98%。MFICが過去扱った300件のローンのうち不返済は一件あっただけだ。構想の段階から法令遵守を細部まで考慮したという事業モデルは、米財務省から最も優れた社会金融事業モデルであるとのことお墨付きを受けた。

開業から3年経った今年、MFICの飛躍の年だ。世界銀行の一部である国際金融公社からの200万ドルの出資と様々なテクニカル援助の提供が決まった。さらに4月からは大手送金会社UAE Exchangeと提携して世界85カ国に向けた送金サービスを開始する。

2億人の移民の生活向上、同時にこれまで金融システムから洩れていた27兆円の移民経済の動きを変えるグローバルな改革。枘迫が胸に抱いたプランは今日も着々と進んでいる。



MFICが設立した移民対象金融サービスセンター、Alante Financial。

枘迫 篤昌(とちさこ あつまさ)
MFIC(マイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション)
創設者・プレジデント
1955年広島県生まれ。
同志社大学経済学部卒。ジョージ・ワシントン大学大学院にてMBA取得。大学卒業後、東京銀行に就職。エクアドル、ペルー、アトランタなどの駐在を経て、東京三菱銀行のワシントン駐在事務局長に。2004年春、MFICを設立。MFICは「移民経済」に巨大な変化をもたらす世界で初めてのプログラムとして関心を浴びている。